

◆豪雨後のヘリ調査を実施しました！



7月27日未明からの豪雨により千寿ヶ原で連続雨量192mm、水谷で191mmを観測しました。当日に実施した地上からの状況調査では、工事専用軌道沿いに小規模な斜面崩落等が確認されました。このような斜面崩落等が複数発生していることが懸念されたため、28日には管内全体の災害発生状況を確認するためヘリコプターによる上空からの調査を実施しました。なお、今回は関係機関の方々にもヘリコプターに搭乗していただき流域の状況を確認していただきました。

平成28年7月28日 9:00~13:15 (3便)

参加機関：富山県 砂防課、立山土木事務所

富山市 建設部 (土木事務所)

立山町 総務課、農林課、健康福祉課

上市町 総務課

調査結果

小規模な斜面崩壊、土砂流出、工事現場の仮設等の被災や河川の濁りは確認されたが、砂防施設の被災や大規模な崩落等の重大な被害は確認できなかった。



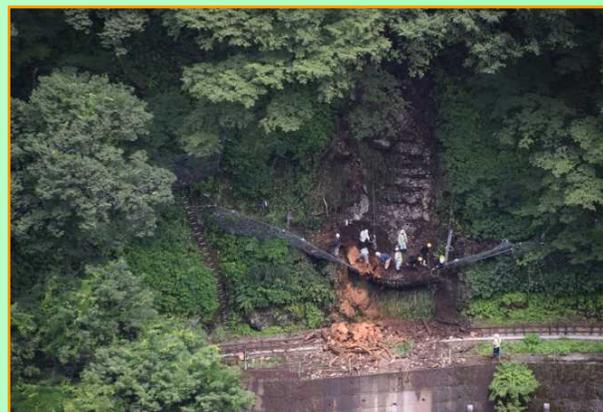
ヘリコプターへの搭乗状況



立山カルデラ内の状況 (多枝原谷合流点)



北陸地方整備局が管理する
災害対策用ヘリコプター『ほくりく』



工事専用軌道沿い斜面の土砂崩落状況 (大谷付近)



工事仮設物の被災状況 (水谷第3号砂防堰堤)